

「新たな国土・広域計画研究会」第2回議事概要

日時：令和3年1月13日（水） 19：30～20：50

場所：WEB 会議方式

○各出席者からのコメント。

- ・リサーチテーマ、クエスチョン、アンケート項目まだ検討段階。
- ・学生は「雑談」がキーワードで、クリエイティブ、仕事につながると考えている。
- ・来週学生たちから発表させ議論する場がある。
- ・アンケート用紙となった段階で先生方に見てもらいたい。
- ・アンケートテーマ「東京圏と地方圏の人の流れを変えられるか」「地元の人々の東京への移住に対する意識と地元に住み続けることの意識の変化」を想定。
- ・コロナ前後の変化、対象など文献を参考に議論を進めている。
- ・テーマ「ポストコロナの観光と地域経営」、キーワードはマイクロツーリズム、関係人口、交流・体験、リピーター、SNS。
- ・具体的な質問項目になるよう学生と議論を進める予定。
- ・インターネットアンケート会社で「マクロミル」という会社を利用したことがある。サンプル割り付けで20セルまで無料など、対応も含めて良かった。
- ・アンケートは3大学とも、ターゲットは社会人、学生で共通していた。また、将来の居住地分析も出来るのではないか。
- ・国土計画において目下関心のあるテーマを選んでいただいていると思う。
- ・コミュニケーションのオンライン化が人の移動にどう影響するかは興味深いテーマ。「雑談」に関しては、業務の場合とプライベートの場合と分けたほうがぼやけないのではないか。プライベートでオンライン会議を行う場面の具体的なイメージを明らかにすることが必要に感じる。
- ・コロナで住みたい場所、進学・就職先地域の志向の変化を聞くことには意義がある。社会人、大学生ももちろんだが、進学を控えた高校生も対象に含めてもおもしろいと思う。
- ・国土審議会資料の中に、都市の人口規模によりコンビニなどどのようなサービス機能が成り立つのか整理した資料があり、「ちょうどよい」都市規模について整理する上でご参考になるのではないか。
- ・関係人口について、地域に関心のある人々がコロナの中でも地域とオンラインでつながり、どのように関わっていくのかは面白い観点と思う。マイクロツーリズムの活発化が比較的近い都市住民が地域の活動に継続的に関わっていくことにつながるのかという視点もあるのではないかと感じた。

- 協会に成果報告を行う機会が必要なのか確認してほしい。
- 各大学の出される成果を踏まえて原稿執筆する関係で、アンケート結果が出て何が言えそうかなどが見えてきたタイミングで状況をお教えいただけるとありがたい。

以上